

第 115 回 (11 月 7 日) 親学講座 感想文

「日本の近現代史—『学び直し』講座」

講師 森 靖喜 学園長

「ルーズベルトニ与フル書」硫黄島で戦死する 4 日前に、市丸利之助海軍中將によってしたためられた手紙から始まった貴重な DVD を拝見しました。

森靖喜学園長から、日本が大東亜戦争に至った経緯や、多くの歴史教科書「自虐史観、(侵略戦争した日本は悪い国) を定着させていること事などをお話しいただきました。また、昔から日本人精神 (=武士道) とは、神道 (清明な心)・仏教 (慈悲の心)・儒教 (儀礼・先祖崇拝・秩序) から成り立っている事も教えていただきました。この精神は、学芸館の理念であるゼロ・トレランス教育に通ずるものがあり、生徒たちが日本人としてのアイデンティティを持ち、将来日本人として誇りをもって生きていく糧となると思います。

- ・日本の歴史教科書がヨーロッパ主体の考え方であるという内容に驚きました。戦争が日本の一方的な侵略ではなかった事は知りませんでした。
- ・台湾で、ガイドから学園長と同じ意味の話聞いたことがあります。学園長のお話される内容は納得だらけです。
- ・「ルーズベルトニ与フル書」には、人が人として生きることの大切さが書かれていました。こうした大切なことを後世に伝え続けていくことが本当に大切だと思います。
- ・理事長の歴史学び直しによる 500 年の総括は本当に面白く、毎回考えさせられます。人種差別はまだ根深い状況です。最近でも黄色人種に対してもいろいろある様で、この後も考えてみたいと思います。
- ・子どもが寮生活のため、なかなかゆっくり話す時間が持てませんが、入学以来初めて学長・参与にお目にかかれて、また安心して通わせることができます。今後も機会があればぜひ親学に参加したいです。
- ・近現代史の認識が変わりました。市丸中將の遺書や、エドアルド・ヴァン・ティンさんの証言、マッカーサーの証言にもあるように、日本人が行ってきた行為は本当に素晴らしい事実であり、後世にも伝えたいと感じました。改めて日本人でよかったなと素晴らしいさに気づきました。
- ・自分が学生時代に習った歴史は明らかに WGIP (ウォー・ギルト・インフォメーション・プログラム) が影響していると感じました。
- ・このようなお話を、学校教育機関が話されることに意義があると思います。
- ・アジア諸国を守る戦いだったとは知りませんでした。日本人として、人の為に尽くせることを誇りに思いました。
- ・朝鮮を植民地化したのではない。併合したのだと。近隣国にどれだけのお金と労力を使って近代化を進めていったか。人種差別撤回を提した日本を誇りに思います。

第 116 回 (11 月 21 日) 親学講座 感想文

「なぜ日韓は和解できないのでしょうか」

講師 拓殖大学 国際学部 教授 呉 善花 氏

～ 本校合唱部の歌声も花を添えました ～

- ・「日本には世界にないものがある」に納得しました。
- ・意識せず過ごしていた自分たちの文化や習慣は、すばらしい精神だということを考える時となりました。
- ・自分たちの違い (すばらしい感覚や美意識など) を知ることができました。
- ・日韓の違いがよく理解でき、将来のある子どもや孫に、正しいことを伝えたいと思いました。
- ・日本人が外国の方からどのように思われているのか、先生のお話をきいて楽しく知ることができました。
- ・日本と韓国、ほんの少しのずれの違いなんです。
- ・日韓問題の根底は、日常の些細な価値観の違いであるということに驚きました。
- ・日韓人の価値観や様々な感覚、そして文化の違いの発見が、大変新鮮でした。
- ・ひとりひとりが価値観の違いを認識し認め合えたら良いと思います。
- ・先生のお話は日韓問題の先入観を変えるものでした。韓国が日本のことをどう思っているのか知ることができた (高校生)
- ・政治ではなかなか手を取り合えない日韓ですが、呉先生のお話から、民間レベルでお互いの文化を尊重し合っていけば、良い交流ができると確信いたしました。
- ・呉先生のように価値観の違いを認め合い、郷に入っては郷に従うと広い心でお付き合いできるようになればと願います。
- ・相手の習慣や風習をよく知ろうとすることは身近な人間関係でも大切なこと、日々の自分を見直す良い時間となりました。
- ・高校生にはなかなか聞くことのできないお話で興味深かった。
- ・お話を聞いて、呉先生は本当に日本のことが好きなんだということが伝わってきた。(高校生) 呉先生の本を読んでみようと思います。またお話も是非お聞かせください。

- ・合唱部の演出、歌声が透き通っており、心に染みしました。これからも応援しております。
- ・指揮者不在にもかかわらず、その頑張りが伝わってきて素晴らしかったです。
- ・衣装が手作りで素敵でした。
- ・ずっとずっと涙が出ました。きっとその心をよく教えていらっしやるのだらうと思います。
- ・『ふるさと』には涙が出そうなほど感動しました。
- ・歌は人の心に必ず届きます、これからも頑張ってください。

## 『進学に向けての進路講演』

(株) ベネッセコーポレーション 学校カンパニー 藤井雅徳 氏

恒例になっております「進路講演」です。今回は今後社会に求められる力は何かそして、大学はどのような高校生を選抜しようとしているのか。また、大学入試制度改革にも対応できる最新の情報についてお話しいただきました。

- ・子どもたち自身が知っていることをさらに深く考え、それを上手に言葉として表現する経験を積むこと。そして、何事にも「なぜ？」と疑問を持ち、考える習慣をつけさせることが、親としてしなければならないことのように思いました。
- ・子どもの主体性を信じて、進路を決定することができるようにしたいです。
- ・数学の重要性が増すことについて知ることができ、現状の課題が明確になりました。
- ・大学受験、その後の働き方の考え方など、動向を知ることができました。入学定員の厳格化による影響が落ち着いてきているということを知りました。コロナの影響が入試動向、選抜方式、受験生の希望校などに、どのような結果が出たかを来年もぜひ教えていただきたいです。
- ・受験は社会で必要な力をつける準備期間と捉え、目標をしっかりと定めるところから親として子どもをフォローしていけたらと思いました。
- ・受験勉強の意義・意味を理解できれば、親と子、それぞれに取り組み方、立ち向かい方に自信と納得が得られると学ぶことができました。
- ・本人の自覚と考える力が大切だと痛感しました。
- ・親である私たちも、日々勉強していかないといけないと思いました。
- ・親世代の受験とは全く違うこと、100 歳時代を生きる子ども達がどのように高校時代に受験勉強をしていけばよいか、色々勉強になりました。
- ・親としても、大学入試に向けての知識を増やしていこうと思えます。
- ・子どものこれから(将来)について話をする時、今のことだけを考えるのではなく、視野を広く、私たち親も知識を得ることにより、子どもの声かけが変わるように思えます。
- ・SDG s を家庭で取り組めるようにしたいと思いました。
- ・入試の変化、世の中の変化、働き方の変化、様々な変化に流されず、何の為の大学生活なのかをこれから子どもと話し合いながら、お互いが納得できる方向に進んでいきたいです。
- ・子どもがこれからの社会で求められる人材になれるように、親も勉強していかなければならないと感じました。大学に合格することがゴールではなく、その先も学び続けられるようになっていけたら良いと思えます。
- ・学部選びが大切、目標、現状を知り、毎日の努力が大切と痛感いたしました。親が子どもに対しての接し方も少し見えてきたように思えます。ありがとうございました。
- ・実力、総合力をつけていく事が大切だと改めて感じました。
- ・今回の講座で、子どもと大学受験、そして今後生きることについて一緒に話をしようと思いました。
- ・子どもが思春期の悩みを乗り越え、目標に向かって努力し、自主的に動けると良いと思いました。
- ・大学受験、進学に必要なお金・奨学金についてのお話は非常に参考になりました。
- ・生徒には、基礎学と柔軟性を身につけていって欲しいと思えます。
- ・大学入試に関して、新しい考え方が必要であると感じました。大変参考になりました。

## 『古事記と皇室のすばらしさ』

公益財団法人 新教育者連盟理事 代田 健蔵 氏

～ 武久瀬戸内市長の素敵な歌声も披露していただきました ～

- ・代田先生の古事記の講話に引き込まれました。日本の伝統や習慣・民族性、さらには戦争、人種間の思想や根本的な違いまで交えての広く深いお話で時間が足りないくらいでした。
- ・古事記の流れをダイジェストで説明されるのかと思っていましたが、違った角度で新たな発見が沢山ありました。
- ・古事記は遠い存在でしたが、日本人の心に現代まで伝わっている習慣が多くあることを学び、とても身近なものに感じました。
- ・代田先生のお話は素晴らしかったです。今までで一番良かったです。古事記を学びなおしたくなりました。
- ・「日本は素晴らしい」という報道は多くありますが、その根底に何があるのか掘り下げることはされていません。道徳で取り上げるべきと思うのですが、昨今の流れはなかなか難しいようです。
- ・古事記神話と日本人の生き方で日本人としての誇りを感じられるお話を聞かせていただきました。歴史を正しく学ぶことの大切さも再認識しました。
- ・今日の講義を聞き、長い歴史に培われた慎み深い精神性、美しくて合理的な作法を大切にしていきたいと思えました。近年言われている持続可能性社会の実現のためにも日本の自然と共生する心は実現に近づくものではないかと思えました。
- ・代田先生から古事記をはじめとして日本人の心や在り方について考えるきっかけをいただき有難く思います。ご紹介いただいた「古事記神話入門」から読み始めて、改めて古事記の勉強をしたいと思えます。
- ・これまで森学園長のご講話とシンクロする内容で、また学びなおしをしたいと思えます。
- ・古事記の勉強は何年も続けておりますが、改めてしっかり学び、伝えていく必要性を感じました。
- ・日本の国を愛してやまない心を痛いほど感じ取れる代田先生のご講演、一年を締めくくるにふさわしい内容でした。
- ・古事記は日本人の魂。日本語の美しさ、奥深さを感じた。ひらがなの一つ一つに意味があることが分かってよかったです。
- ・学生時代に教科書で古事記について学びましたが本日ほど真剣にしっかり学ぶ機会がなかったので、代田先生のお話を聞かせていただき心が開けたような感覚になりました。
- ・初めて日本人として誇りを持ち、日本人精神を忘れず一生懸命生きていこうと思えました。
- ・市長による「宵待草」素晴らしい空間でした。大正時代の流行歌が昭和、平成を経て令和になっても愛されている。人の心は変わらないのだなと感じました。
- ・武久市長のタキシード姿、素敵でした。市長の歌声に師走のせわしなさを忘れ、心和みました。
- ・瀬戸内市長、失礼ながらあまり存じ上げていませんでしたが、こんな美声をお持ちの方とっておきませんでした。